

第3回目のテーマは「子育てしながら働きやすい職場環境づくり」です。

企業が独自で行っている仕事と出産・育児の両立支援の取り組みを、物流包装サービスを総合的にコーディネートするTSK株式会社(富山市三郷)の森内美智子さん、中井百恵さんに聞きました。

始まりは社員の声から

TSKには、職場環境を社員の発案から変えていける「KAIZEN(改善)制度」があります。女性社員が4割を占めていることから、出産や育児に関する改善もあり、不妊治療や子どもの送迎を目的に時間単位で有給休暇が取得できるようになりました。

定期的な社長面談の際に、社員が「子どもが学童保育に入らなかったで、午後から在宅勤務をしたい」と話したことをきっかけに、令和4年の夏からは、小学校の長期休暇の期間に子どもと一緒に出社できる「子連れ出社制度」が始まりました。社員が協力し、社内の空きスペースを活用して作った託児室では、事務社員が子どもと一緒に仕事をしているので、預ける人も安心して働くことができます。

また、託児室に集まった子どもたち向けに工場見学を実施したり、包装材を使ったミニ米袋作りのワークショップを開いたり、社員が一丸となって同僚の子育てを支えています。



会社全体で社員の子育てを支える

以前は、出産を機に退職する社員もいましたが、近年は、育児休業を経て、100%が職場に復帰しています。

業務管理課の森内さんは、「社内では、意見が言いやすく、自分たちで働きやすい環境づくりができています。この間もランチをしながらの子育てママ座談会を開催して、子育てについての情報交換を行いました」と前向きに話します。

生産部の中井さんは、「普段から社員同士のコミュニケーションがとれているので、子育てで休んだり早退したりする時にも、言いやすい雰囲気があります。翌日出社しても後ろめたさを感じず、ストレスなく働けることがとてもありがたいです」と笑顔で話します。



子どもたちも大満足

TSKの「KAIZEN制度」

社員がやりがいを感じながら働けるよう、前社長の発案で19年前から取り組んでいます。この制度は、改善したことを報告するもので、毎月優れた取り組みを優良KAIZENとして社内で表彰しています。



森内さん

中井さん

取り組みの輪を広げよう

今回紹介したTSKは、会社全体で出産や子育てを応援しながら、女性の活躍を後押ししています。みなさんも子育てにやさしい取り組みを、できることから始めてみませんか。

市の子育て支援サイト

「育さぼとやま」に関連情報を掲載しています。

その他の企業等の
取り組みはこちら



これまでの
特集記事はこちら

